

日用品工業団体協議会・異業種工場見学会

～中部地区（カイインダストリーズ社・ノリタケ社）視察ツアー～

出発日 平成26年7月17日（木）

帰着日 平成26年7月18日（金）

日用品工業団体協議会

参加者名簿

氏名	所属	備考
佐川 安壽	東京アンチモニー工芸協同組合 前副理事長	
菊池 哲	一般社団法人軽金属製品協会 監事	
橋口 陽一	一般社団法人日本硝子製品工業会 専務理事	
西部 弘司	協同組合ハウネット 専務理事	
春原 博	一般財団法人生活用品振興センター 専務理事	
春原 政則	一般財団法人生活用品振興センター 業務部 課長	事務局

見学・宿泊先

1日目	2日目
<p>カイインダストリーズ株式会社 〒501-3992 岐阜県関市小屋名 1110</p> 	<p>株式会社ノリタケカンパニーリミテド 〒451-8501 愛知県名古屋市西区則武新町 3-1-36</p> 
<p>関観光ホテル 〒501-3264 岐阜県関市池尻弥勒寺 91-2</p> 	<p>トヨタ産業技術記念館 〒451-0051 愛知県名古屋市 西区則武新町 4-1-35</p> 

事務局

日用品工業団体協議会  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-15-2 松島ビル 4F  
一般財団法人生活用品振興センター内  
担当：春原 政則  
電話 03-3639-8881 FAX 03-3639-8880

**日程表**

**第1日目・7月17日(木)「カイインダストリーズ社見学」**

場所等	時刻	交通機関	備考
JR 岐阜駅	12:00	任意	「北口駅前広場」集合
カイインダストリーズ(株) 小屋名工場	13:00	送迎車	挨拶・会社紹介 カミソリ製造工程見学(～14:15)
千疋工場	14:30		カミソリ組立工程見学(～15:00)
田原工場	15:30		ツメキリ・ハサミ製造工程見学(～16:00)
SLC(物流センター)	16:00		田原工場に隣接(～16:30)
関観光ホテル	17:00		チェックイン
夕食	17:15		
鵜飼見学	18:50		遊覧船での小瀬鵜飼見学
1日目終了	20:00		大浴場・カラオケなどでお寛ぎください

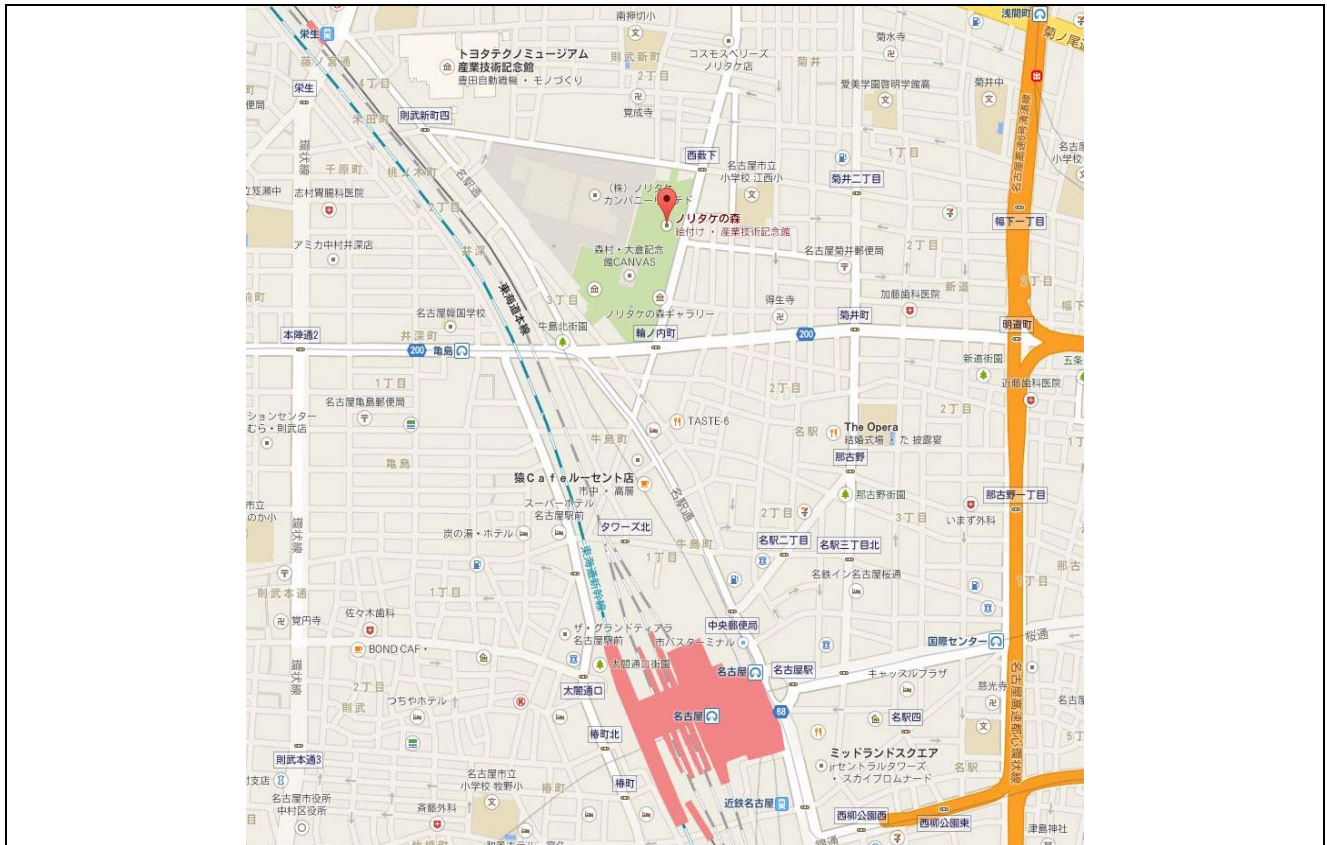


食事	朝食：任意
	昼食：任意
	夕食：関観光ホテル(鮎会席コース)

MEMO	
------	--

第2日目・7月18日（金）「ノリタケ社・トヨタ産業技術記念館見学」

場所等	時刻	交通機関	備考
関観光ホテル	08:15	送迎車	各自チェックアウト
J R 岐阜駅	09:23		
J R 名古屋駅	09:43	J R	
ノリタケの森	10:00	タクシー	(株)ノリタケカンパニーリミテド説明 ・クラフトセンター・ノリタケミュージアム見学
レストラン「キルン」	11:30	徒歩	
トヨタ産業技術記念館	13:00	タクシー	約2時間見学
J R 名古屋駅	15:30		
		任意	解散



食事	朝食：ホテル
	昼食：レストラン「キルン」（ノリタケの森内）
	夕食：任意

MEMO	
------	--

## 見学地説明

### カイインダストリーズ株式会社

貝印株式会社（かいじるし、Kai Corporation）は、カミソリに代表される刃物を中心とし、調理用品や化粧道具、衛生用品を販売するメーカー。

東京に本社を置く貝印株式会社は販売会社であり、グループ関連企業として岐阜県関市小屋名に、貝印カミソリの製造や、業務用カミソリ、医療用刃物、特殊刃物を専門的に扱う、カイインダストリーズ株式会社がある。ポケットナイフ製造メーカーとしてスタートし、日本初の国産替刃カミソリを製造した。安全剃刀では国内トップのシェア（30%）を持つ。なかでも、使い捨てカミソリにおける国内シェアは 50%である[1]。また家庭用品の販売も行っており、家庭用包丁の国内シェアはトップである。海外では欧米限定発売のダマスカス包丁「旬」がヒットしている。この他眉ハサミやビューラー等の化粧用品小物の他、ツメキリ・クシのような衛生用品等、刃物をコアとした幅広い商品展開を行っている。

また、ドイツの高級家庭用品ブランド「WMF」やアメリカのキッチン用品ブランド「Chef'n」等の輸入代理店も務めている。「貝印」の社名は、(1) 貝は昔刃物として使われていたこと、(2) 英語の「シェル (SHELL)」の発音が、2 代目社長の幼名・繁（しげる）に通じること、等いくつかの由来がある。

企業ロゴである「KAI」は、1988 年に導入された。このマークは社員の間では「エッジマーク」と通称され、ウォークマンの生みの親とされるソニーの黒木靖夫の協力によってデザインされた。（ウィキペディアより）

### 株式会社ノリタケカンパニーリミテド

株式会社ノリタケカンパニーリミテド（英: Noritake Co., Ltd.）は、愛知県名古屋市西区に本社・工場を置く世界最大級の高級陶磁器・砥石メーカーである。環境エンジニアリング事業も手がけている。「ノリタケ」とは、創業地である愛知県愛知郡鷹場村大字則武（現・名古屋市中村区則武）に由来する。

本社にはノリタケの企業文化施設「ノリタケの森」が開設、一般公開され、近年の名古屋政財界が提唱する「産業文化観光」の拠点のひとつとなっている。神奈川県厚木市の厚木工場は現在ノリタケスクエアになっている。

1904 年（明治 37 年）に森村市左衛門によって日本陶器合名会社として創業された。前身の日本陶器は日本で初めて高級洋食器を生産し、明治時代から戦前にかけて陶器商社の森村組の手で欧米に大量に輸出された。初期の製品はハンドメイドで絵付けの美しさ、細工の繊細さで知られる。その後アール・デコを基調としたデザインの食器が大量に生産され、凝ったデザインで現在でも親しまれている。ノリタケブランドは欧米で絶大な人気を博し、国内の業者が模造して輸出した偽物が出回るほどであった。オールド・ノリタケと言われるこの時期の製品は、陶磁器愛好家のコレクターズ・アイテムとなっている。戦後日本に駐留したアメリカ軍の将兵が帰国する時のお土産として 1953 年（昭和 28 年）まで販売されたノリタケ製品をプレミアムノリタケといい、一部に愛好されている。

日本陶器は第二次世界大戦で多数の陶磁器と熟練職人、生産設備を失い、戦前のような高品質の製品を生産できなくなったため、戦後は一時ノリタケブランドを使わず、「ローズチャイナ」というブランド名で輸出を行った。その後ふたたび高品質な製品を世に送り出すことができるようになり、ノリタケブランドが復活する。その後は日本の経済発展に伴って、電子部品、ファインセラミックスなどの分野にも進出した。東京、名古屋両証券取引所の第 1 部に上場している。また、日本初の IBM 製品導入企業でもある。

現在では食器類の売上比率は 15%程度と他部門に主力を譲っており、工業機材およびセラミックマテリアル、環境エンジニアリングの 3 事業が全体の 75%以上を占める（2006 年 9 月期）。工業機材事業は砥石、研磨布紙および CBN、ダイヤモンドなど、研削材や半導体材料からなる。セラミックマテリアル事業には電子ペーストや回路基板、窯業材料などがある。環境エンジニアリング事業は液晶ディスプレイ、電池材料等向けの焼成炉など、産業機械を扱っている。

2009 年（平成 21 年）10 月 1 日には子会社であるノリタケエンジニアリング、日本陶器、ノリタケテーブルウェア、東京砥石の 4 社を吸収合併し、2010 年（平成 22 年）4 月 1 日にはノリタケ機材とノリタケセラミックスの 2 社を吸収合併した。（ウィキペディアより）

### トヨタ産業技術記念館

トヨタ産業技術記念館（とよたさんぎょうぎじゅつきねんかん、英語名：TOYOTA Commemorative Museum of Industry and Technology）は、名古屋市西区にあるトヨタグループが運営する企業博物館。副題的に、「トヨタテクノミュージアム」とも呼ばれる。旧豊田紡織本社工場グループ発祥の地に 1994 年 6 月 11 日に開館した。

豊田佐吉により 1911 年に建設され 1918 年にレンガ造りの建物に改築された「豊田自動織布工場」の跡地に、工場建物も利用する形で開設された企業博物館である[3]。

展示は大きく繊維機械に関するものと自動車に関するものの 2 種類であり、それぞれが「繊維機械館」「自動車館」に納められている[3]。またかつての豊田紡績本社事務所も敷地内で修復され、「トヨタグループ館」として佐吉による設計図や取得した特許証などのゆかりの品が展示されている[3]。展示物は動態保存されているものが多く、技術の進歩を実演で感じることができる[3]。田中久重が製作したからくりの弓曳き童子も展示されている。

工場建物を改築して用いている繊維記念館、およびトヨタグループ館の 2 館については、1996 年 2 月 27 日付で名古屋市都市景観重要建築物等に指定されている[4]。

また、2007 年には建設業協会（現：日本建設業連合会）により第 48 回の BCS 賞を受賞している[5]。2014 年 7 月 1 日 開館 20 周年を機に産業技術記念館から、トヨタ産業技術記念館へ改称。

- ・繊維機械館：「糸を紡ぐ、布を織る技術」の移り変わりを紹介する。
- ・自動車館：「自動車のしくみと、開発・生産技術」の移り変わりを紹介する。

いずれも実際の生産に使われた、もしくは使われている産業機械の実物を展示しており、ものによっては模擬的に実働させることも可能となっている。その他にも体験コーナー「テクノランド」や、豊田佐吉や息子の喜一郎ゆかりの品などを展示した「トヨタグループ館」「豊田商会事務所」などの展示施設と、カフェやレストラン、図書館、ビデオライブラリー等の付属施設がある。また、愛・地球博トヨタグループ館で人気を博したトヨタ・パートナーロボットの 1 体がデモ演奏（1日5回）を行っていたが、2012年6月10日の「さよならコンサート」を最後に、現在は演奏を行っていない。（ウィキペディアより）

## 視察風景



岐阜駅前黄金の信長像



カイインダストリーズ社にて



カイインダストリーズ社工場見学



小瀬鵜飼の遊覧船にて



小瀬鵜飼風景



トヨタ産業技術記念館にて

以上